

AMD－USB－RIG－CW－SOUND Ver3取扱説明書

1. 概要

USB接続で、2チャンネルのRS232C変換ICのFTDI社製FT2232Dを使用した、アマチュア無線用のTTLレベルのリグコントロール、AFSKとFSKのデジタルモード、KEY出力が可能なインターフェースです。

1チャンネル目には、リグコントロール、2チャンネル目には、デジタルモード用出力(RTS=PTT、FSK=TXD)、KEY出力(DTR=KEY)に割り付けています。

パソコンのマイク入力から受信し、AFSKモードの場合、パソコンのスピーカ出力から、変調用出力を送出します。

2. USBドライバのインストール方法

FTDI社のインストールガイドによると、Windows VISTA、7、8、8.1、10の場合は、インターネットが接続された状態で、USBポートに接続すれば、自動的にUSBドライバがインストールされるとのことです。

インストールガイドは、下記より、ダウンロード可能です。正常にインストールされなかった場合のトラブルシューティングの記載もあります。

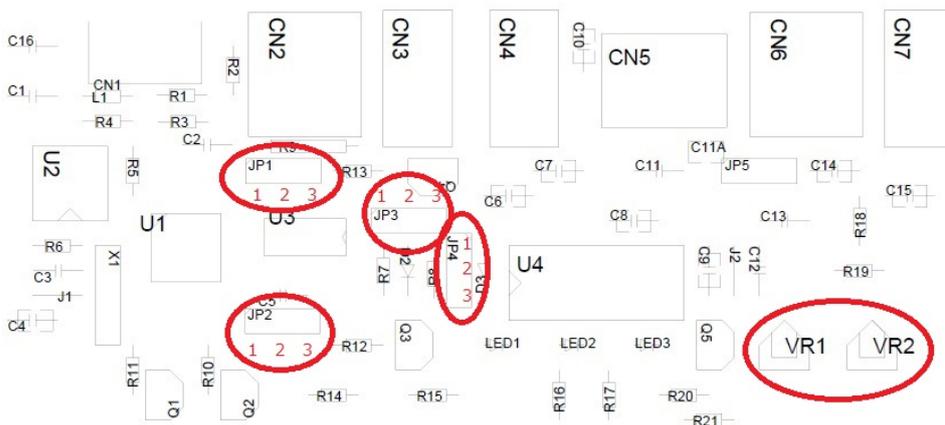
<https://ftdichip.com/document/installation-guides/>

英文ですので、必要であれば、Google 翻訳等で、翻訳をお願いいたします。

また、USBドライバ(VCPドライバ)は、下記からダウンロード可能です。

<https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/>

3. リグコントロールジャックの接続、ディップスイッチ、ボリュームの設定



メーカー	リグ	リグコネクタ	スリーブ 根元	チップ 先端	リング 中間	JP1	JP2	JP3	JP4
ICOM	CI-V インターフェースを有す機種	モニプラグ	スリーブ	チップ	No	無	2-3	2-3	2-3
YAESU	FT-100(D)/817/857/897	8P ミニ DIN	#3	#4	#5	2-3	2-3	無	2-3
YAESU	FT-1000MP(MarkV,Fiield)	DSUB9P メス	#5	#2	#3	1-2	1-2	無	2-3
YAESU	FT-920	DSUB9P オス	#5	#2	#3	1-2	1-2	無	2-3
YAESU	FT-847	DSUB9P メス	#5	#3	#2	1-2	1-2	無	2-3
YAESU	FT-736/747/767/980/990/ 1000/1000D/1011/1021	DIN6P	#1	#2	#3	無	2-3	1-2	1-2
YAESU	FT-757GXII,840/850/890/900	ミニ DIN6P	#1	#2	#3	無	2-3	1-2	1-2
KENWOOD	TS-450/690/790/850/950	DIN6P	#1	#2	#3	1-2	1-2	無	2-3

リグコントロール用のステレオジャックCN2は、先端(チップ)、根元(スリーブ)、中間(リング)で、表しています。

ボリュームは、VR1がAFSKモードでの、音声出力(送信)レベルの調整、VR2が音声入力(受信)レベルの調整用です。

4. パソコン、無線機との接続



コネクタは、左から、

CN7(モノラルミニジャック):MIC(パソコンのマイク入力との接続用)

CN6(ステレオミニジャック):SP(パソコンのスピーカ出力との接続用)

CN5(ミニDIN6ピンジャック):ACC(無線機のアクセサリ端子等の接続用)

1番ピンはMOD(変調出力)で、無線機の変調入力(AF IN)に接続します。

2番ピンはGND(0V)で、無線機のGND(0V)と接続します。

3番ピンはPTT(PTT出力)で、無線機のPTT入力(PTT)と接続します。

4番ピンはアキで、なにも接続しません。

5番ピンは変調入力(RCV)で、無線機の変調出力(AF OUT)と接続します。

6番ピンはFSK出力で、無線機のFSK入力と接続します。

CN4(モノラルミニジャック):PTT(リニアアンプ使用時スタンバイ端子との接続用)

CN3(モノラルミニジャック):KEY(CW用無線機のKEY入力端子との接続用)

CN2(ステレオミニジャック):CAT(無線機のリグコントロール端子との接続用)

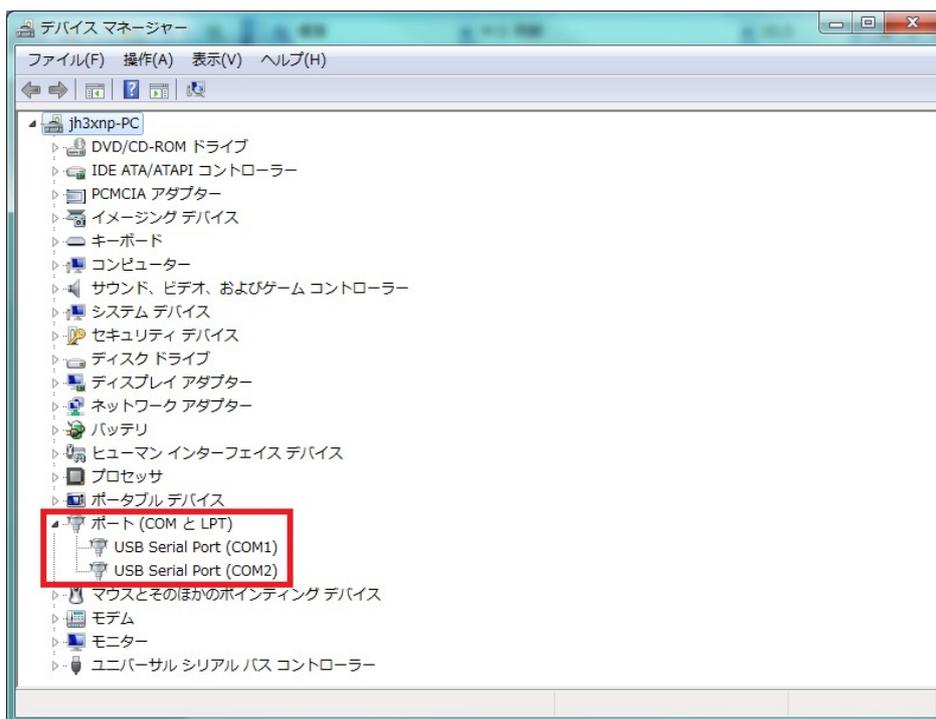
接続方法は、3章をご参照ください。

CN1(USBジャック):USB(パソコンのUSBコネクタとの接続用)

5. 本装置が割り付けられているCOMポート番号の確認

パソコンの「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャ」を開きます。

ポート(COMとLPT)の左の三角矢印をクリックすると、COMポートが2つ表示されます。本例の場合COM1とCOM2に割り付けられています。



6. リグコントロールの設定

(1) ご使用になるアプリケーションソフトウェアのCOMポートの設定で、無線機の型名と、デバイスマネージャで本機が割り付けられた1チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。(上記の場合COM1)

7. MMTTYの設定方法

(1) JE3HHT局のホームページ <http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmtty/index.html> から、MMTTYおよび EXTFSK Sample (extfsk106.zip)をダウンロードしてください。

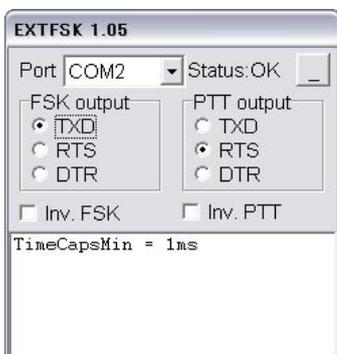
- (2) MMTTYを、パソコンにインストールしてください。
- (3) extfsk106.zip を、MMTTYの入っているフォルダに解凍します。
- (4) MMTTYを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートをEXTFSKに設定しOKをクリックします。



- (5) すると、下記画面が立ち上がりますので、デバイスマネージャで本機が割り付けられた2チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。

(下記の場合COM2)

また、FSK outputをTXDに、PTT outputをRTSに設定します。



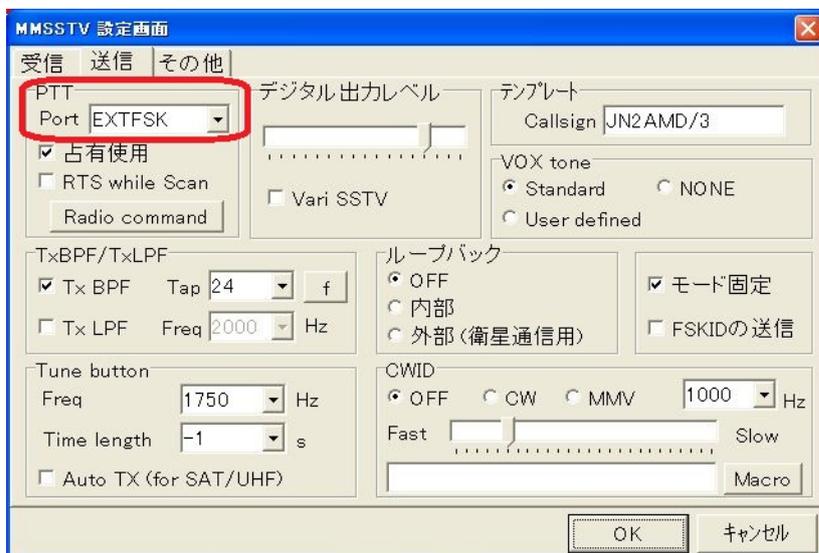
- (6) FSK出力を行うには、オプション→設定画面→その他を選択すると下記画面となりますので、送信ポートをサウンド+COM-TxD(FSK)に設定しOKをクリックします。



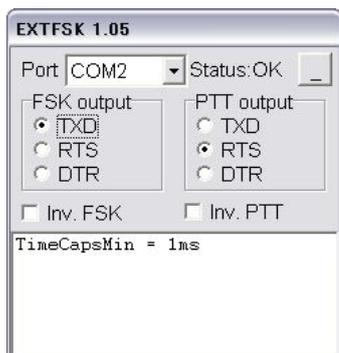
以上で本装置に関するMMTTYの設定は、完了です。

8. MMSSTVの設定方法

- (1) JE3HHT局のホームページ <http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmsstv/index.html> から、MMSSTVおよび EXTFSK Sample (extfsk106.zip)をダウンロードしてください。
- (2) MMSSTVを、パソコンにインストールしてください。
- (3) extfsk106.zip を、MMSSTVの入っているフォルダに解凍します。
- (4) MMSSTVを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートをEXTFSKに設定しOKをクリックします。



- (5) すると、下記画面が立ち上がりますので、デバイスマネージャで本機が割り付けられた12チャンネル目のCOMポート番号を確認し設定します。
(下記の場合COM2)
また、FSK outputをTXDIに、PTT outputをRTSに設定します。



以上で、本装置に関するMMSSTVの設定は、完了です。

9. FT8 (WSJT-X、JTDX)での設定方法

CATコントロールが、COM3に、PTT制御がCOM4に割り付けられている場合の設定方法を示します。

WSJT-Xまたは、JTDXを起動します。

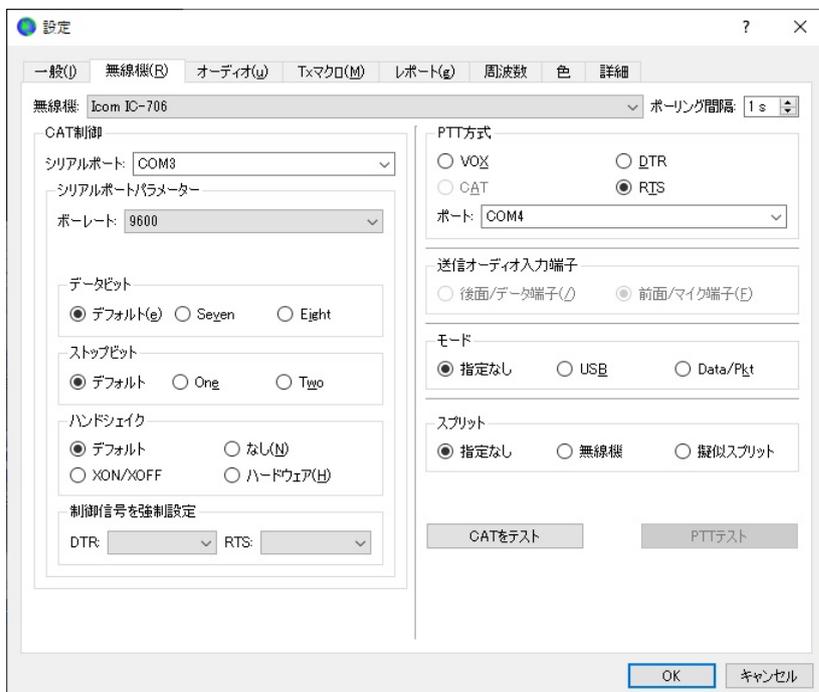
ファイル(File)→設定(Settings)→無線機(Radio)を選択すると下記画面となります。

Rigの欄で、無線機の型名を選定します。(本例では、Icom IC-706)

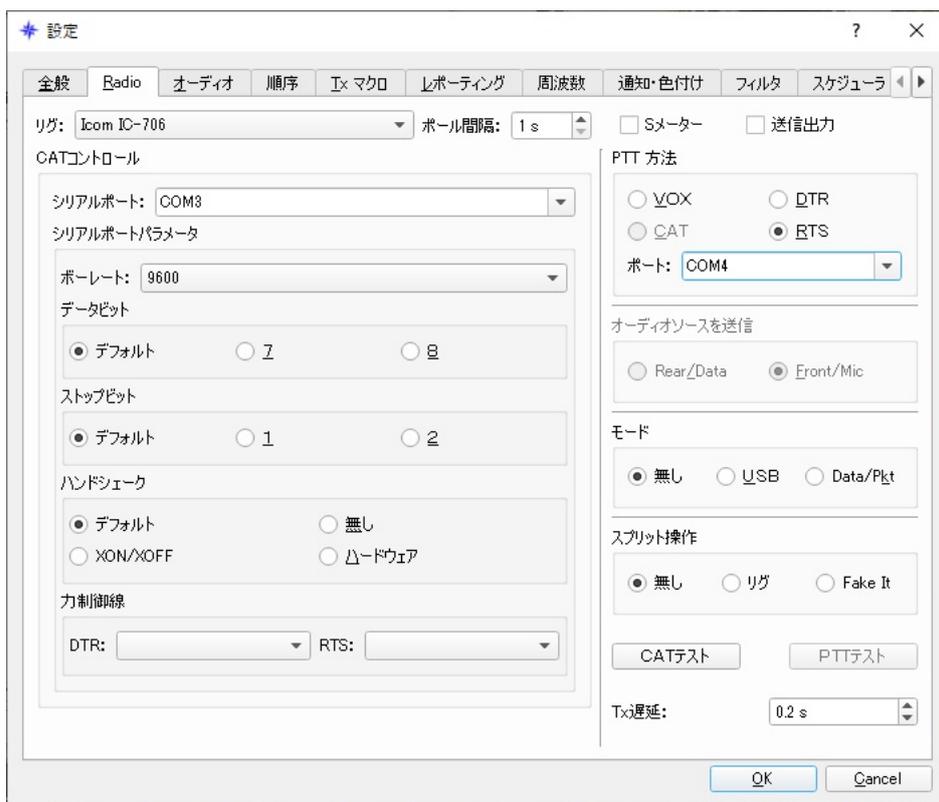
CAT ControlのSerial Portの欄で、1つ目のCOMポート番号を設定します。(本例では、COM3)

PTT Methodで、RTSを選択し、Port欄に2つ目のCOMポート番号を設定します。(本例では、COM4)

WSJT-Xでの設定画面は、下記です。



JTDXでの設定画面は、下記です。



下部の OK ボタンを押して、本インターフェースに関する設定は終了です。

以上